

「社内には、どことなく『自分のゴルフ場でプレーしてはいけない』という雰囲気があったようです」と語るのは、鹿沼72カントリークラブ（栃木県・45日・M）の小島正樹支配人。今年5月にグループの鹿沼カントリー倶楽部（45日・M）から赴任した際にプレーを呼びかけたところ、従業員からは「いいんですか？」などといった戸惑いの声があったという。

「特にプレーを制限していたわけではなかったのですが……。休場日が少なくなり、出勤している仲間に負担をかけまいという想いもあったのかもしれない」（小島支配人）

「同じコースでも、プレーをしながらお客様目線で見ると、マナーシャルで見るとでは、まったく見え方は違います。お客様に楽しく快適にプレーしても、らうためにも、カート道に凹凸や亀裂がなにか、歩径路で滑りやすい箇所はないかなど、われわれもプレーすることが大事

は場は 活性化 内部から



「同じコースでも、プレーをしながらお客様目線で見ると、マナーシャルで見るとでは、まったく見え方は違います。お客様に楽しく快適にプレーしても、らうためにも、カート道に凹凸や亀裂がなにか、歩径路で滑りやすい箇所はないかなど、われわれもプレーすることが大事

「同じコースでも、プレーをしながらお客様目線で見ると、マナーシャルで見るとでは、まったく見え方は違います。お客様に楽しく快適にプレーしても、らうためにも、カート道に凹凸や亀裂がなにか、歩径路で滑りやすい箇所はないかなど、われわれもプレーすることが大事

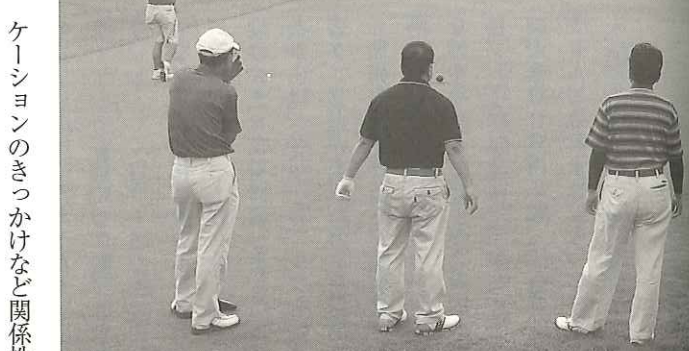
「同じコースでも、プレーをしながらお客様目線で見ると、マナーシャルで見るとでは、まったく見え方は違います。お客様に楽しく快適にプレーしても、らうためにも、カート道に凹凸や亀裂がなにか、歩径路で滑りやすい箇所はないかなど、われわれもプレーすることが大事

「同じコースでも、プレーをしながらお客様目線で見ると、マナーシャルで見るとでは、まったく見え方は違います。お客様に楽しく快適にプレーしても、らうためにも、カート道に凹凸や亀裂がなにか、歩径路で滑りやすい箇所はないかなど、われわれもプレーすることが大事



ミーティング時などに繰返しプレーを呼びかけることが大切

従業員に「もっとゴルフを！」



ケースのきつかけなど関係性を深めることにも繋がっています

初心者が参加しやすい社内コンペに

コースデビュー前の従業員が参加



初心者でも参加しやすいようにチームスクランブル方式の社員コンペを開くところも

「経営交代時に従業員の入れ替わりがあり、ゴルフ未経験者の割合が高くなりました。どうすればスムーズにゴルフを始めてもらえるのかを考え、チームスクランブル戦にすることにしました」と、支配人の石橋勝也氏は経緯を語る。これまでに2回チームスクラ

「初心者の参加意識を高めるため、『9日で1人2回はティショットを採用する』など、ルールを設けています。自分のショットが採用されれば嬉しいものですし、スコアメイクのためにどのショットを採用するか、チーム内で盛り上がっています。部署間の交流を深めることにも繋がっています」（石橋支配人）